



進路だより

2月1日(水)

No. 22

第二中学校進路

私立高校の出願も終わり、第二中学校での最後のテストである学年末テストも終わりました。あとは、入試本番に向けて頑張るのみですね。今日は面接での動きや注意事項について学習してもらいます。面接は高校受験だけでなく、社会に出る際にも必要になることなので、しっかりと学んでマナーあるスマートな大人を目指しましょう。

面接について

1. 言葉づかい

面接での印象を大きく左右するものの1つが言葉づかいです。

- ていねいにはっきり答える。 • 返事は「はい」「いいえ」をはっきりと答える。
- 語尾は「です」「ます」を使う。 • 早口にならないように、ゆっくりと落ち着いて答える。
- 「たぶん…」 「一応…」 などあいまいな言い方はしない。

など、言葉づかいの基本を意識しましょう。

自分や家族の呼び方

自分のこと⇒わたし ※「ぼく」と言うこともありますが「わたし」が多い

お父さん⇒父、お母さん⇒母、お兄さん⇒兄、お姉さん⇒姉

おじいさん⇒祖父、おばあさん⇒祖母

と、普段使っている言葉とは違います。大人の世界でもこのような言葉づかいができる人は、「おっ、この人さすがやな。」と思われま。様々な場面で必要になることなので覚えておきましょう。

2. 受け答え

面接では、質問に対する答えを間違えたり、すぐに答えられなかったりすることがあります。間違えてしまうことは仕方のないことなので、“その後はどうするか”が大切です。

間違えたとき

- 「すみません。間違えました。」と言って、落ち着いてもう一度答えましょう。

答えが思い浮かばないとき

- 素直に「わかりません」と答える。
- 「すみません、少し考えさせてください」と言って、考えを整理しても構いません。

質問がうまく聞き取れないとき

- 「すみません、もう一度お願いします」と言って聞き直す。

質問の意味が分からないとき

- 「それは〇〇という意味でしょうか」と確認する。教えてもらったらお礼を言います。

3. 控え室にて

面接は、控え室で順番を待っているときも大切です。控え室での過ごし方を確認します。

- 静かに座って待つ…足をフラフラさせたり、机に突っ伏さず、正しい姿勢で待ちます。
- 面接の流れをもう一度イメージして動きを確認する。
- 順番などを考え、トイレに行きたいときは挙手し、監督の先生に言いましょう。
- 服装をしっかりと整えておきましょう。

極度に緊張する必要はありませんが、ほどよい緊張感を持ち、面接への気持ちを作りましよう。

緊張をほぐすために

ほどよい緊張感と書きましたが、すごく緊張すると思います。

リラックスする方法も少しだけ紹介します。

- 深呼吸をする…不安な気持ちを吐き出すようにゆっくり深呼吸する
- 良いイメージを思い浮かべる…練習したことを思い出し、気持ちを落ち着かせる。



4. 入室の流れ

- ① ドアの前に立ち、軽く3回ノックする。
- ② 「どうぞ」と言われたら、「失礼します」と返事をしてからドアを開ける。
- ③ ドアの前でお辞儀をして入室する、最後の人はドアの方に向き直り、ドアを静かに閉める。
- ④ いすの入ってきた扉に近い方に立ち、面接官の方を見てお辞儀する。(基本はいすの左)
- ⑤ 面接官から受験番号、名前を言うように指示があったら、その場ではっきりと答える。
- ⑥ 面接官に「どうぞ」と言われたら、「失礼します」または「お願いします」と言い着席する。

5. 退室の流れ

- ① 「面接を終わります」と面接官に言われたら、いすの横に立つ。
 - ② 「ありがとうございました」と言ってから、お辞儀をする。
 - ③ ドアに近い人から順に、ドアに向かって歩く。
 - ④ ドアの前で面接官の方を向き、「失礼します」と言ってからお辞儀する。
 - ⑤ 静かにドアを開けて退室する。
 - ⑥ 最後の人はドアの方に向き直り、静かにドアを閉める。
- 部屋を出た瞬間に「終わったー」など言わずに、最後まで気を緩めないこと。
「ありがとうございました」、「よろしくおねがいします」、お辞儀、はいくらしてもかまいません。最後まで気持ちと姿勢をみせれるようにしましょう。



これで、みなさんはバッチリ面接の動きが分かったと思います。あとは練習あるのみです。休み時間に友達と動きを練習したり、家で入室、退室の流れを練習して、2月の、私立入試、特別選抜入試本番に向けて練習をしましよう。

※私立・特別選抜入試で面接試験のある人は 2月3日(金)の放課後に面接練習します。